科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
構造力学 I	佐藤 公亮	講義	2	建築士	1,2	3	1,2,3,4
授業概要 授業目的	<ul style="list-style-type: none"> 建築構造物には自重や積載荷重の他に、地震や風、積雪など様々な外力が作用する。これらの荷重に対して安全性を確保するために構造設計がなされる。この構造設計の力学的な基礎となるのが構造力学である。 構造力学 I では静定構造物の解法、断面力算定方法を学習する。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な静定構造物の構造計算ができる。 						
回	学習内容						
1	建築構造力学概説、構造物の支点反力						
2	静力学の基礎 I (ベクトル、三角関数、力の分解・合成)						
3	静力学の基礎 II (力のモーメント、力の釣り合い)						
4	演習						
5	静定トラス構造の解法 I (節点法・図式解法)						
6	静定トラス構造の解法 II (節点法・算式解法)						
7	静定トラス構造の解法 III (切断法)						
8	静定ばりの応力算定法 I (軸方向力、せん断力、曲げモーメント)						
9	静定ばりの応力算定法 II (軸方向力、せん断力、曲げモーメント)						
10	演習						
11	静定構造物の応力算定法 I						
12	静定構造物の応力算定法 II						
13	応力度とひずみ度						
14	断面の性質 (断面定数の算定法)						
15	部材断面の各種応力度算定法						
予習内容 復習内容	<ul style="list-style-type: none"> 予習形式の課題を課し、授業で予習内容の確認をする。 復習で、応用問題を解く。 						
教科書	<ul style="list-style-type: none"> 特に指定しない。 						
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> 課題 (40 点)、演習 (40 点)、試験 (20 点) の合計を評価点とする。 評価点 60 点以上を合格とする。 						
実務経験							
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 公式の適用条件、理論を理解すること。 同じ問題を繰り返して解くことは、確認作業であり勉強ではない。類似問題を解き、問題の解法を理解すること。 						